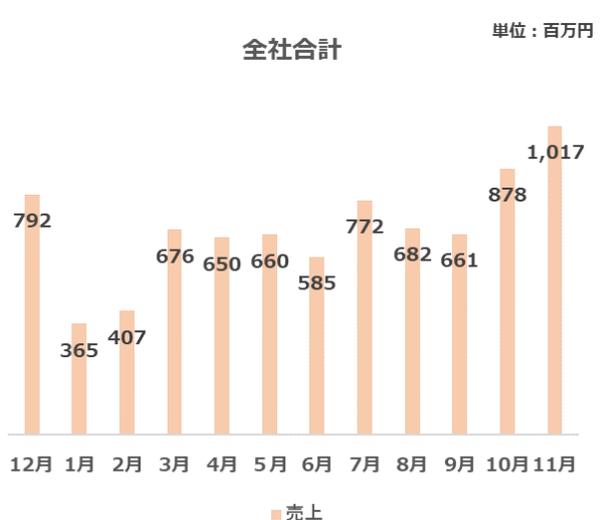


各 位

会社名 株式会社 ひらまつ
 代表者名 代表取締役社長兼CEO 遠藤 久
 (コード番号 2764 東証一部)
 問合せ先 取締役 CFO 北島 英樹
 (TEL: 03 - 5793 - 8818)

月次速報(単体)に関するお知らせ

2021年11月度の月次業績(単体)速報について、以下のとおりお知らせいたします。



全社合計

11月の全社売上は1,017百万円、既存店売上は前年比で107.5%(10月の前年比は97.1%)、一昨年対比で84.6%(10月の一昨年対比は88.1%)となりました。今期初の10億円を超え、既存店売上も4ヶ月ぶりに前年比100%を超えました。緊急事態宣言解除以降、新型コロナウイルス感染者数の減少も背景に、当社の各事業は着実に回復傾向にあります。レストラン事業は、10月から続く秋の全社プロモーションが引き続き好調に推移しており、ブライダル事業においては、今期最多の施工件数を達成いたしました。ホテル事業においても、新たなプランの展開等により稼働は堅調に推移しております。また、新たな提案は話題を呼び、11月は多くの雑誌やメディアに取り上げられました。

今後繁忙期を迎えるレストラン事業とホテル事業の予約獲得は、先月から引き続き一昨年水準を超えて非常に好調に推移しております。クリスマスシーズンを迎えるレストラン事業においては、クリスマス限定メニューを特定日だけでなく、一定期間お楽しみいただける「Everyday is Christmas」を展開することで売上の最大化を図ってまいります。

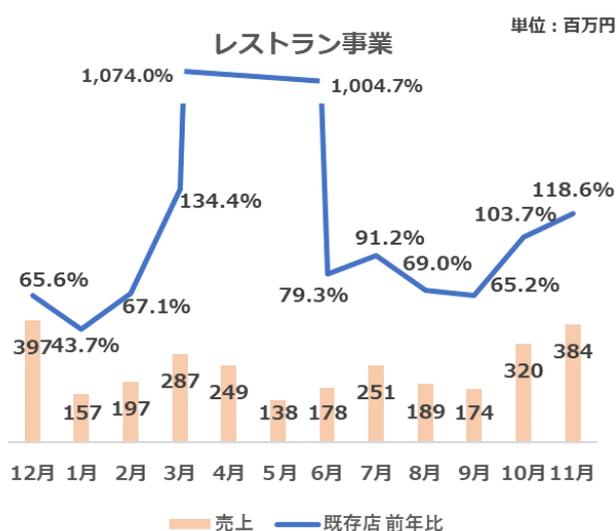
レストラン事業

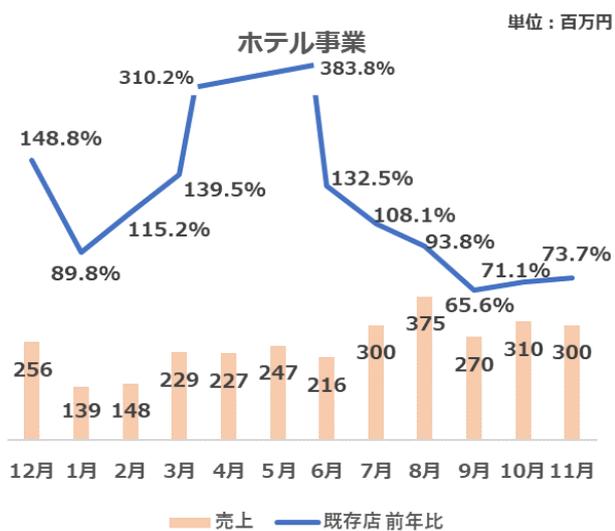
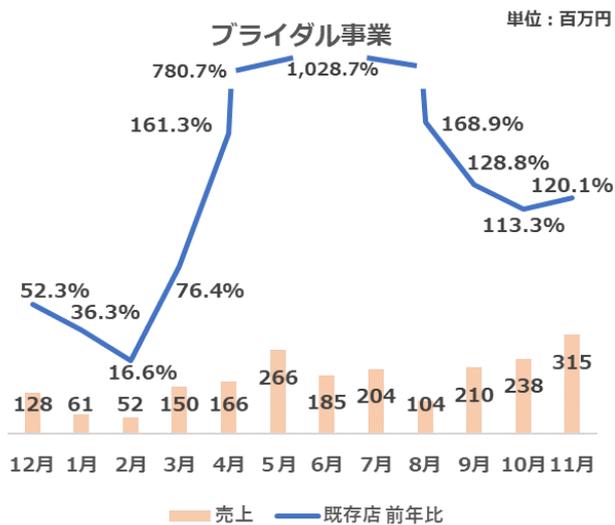
先月に続き、今期最高売上を達成いたしました。昨年は10月下旬～11月にかけてGo To Eatキャンペーンによる客数増がピークを迎えておりましたが、追い風がなかった今年においても、客数・客単価がいずれも前年を上回り、堅調に推移しました。

新型コロナウイルス感染症の新規感染者の減少を受けた消費の回復と、酒類提供の制限が解除(東京・大阪・京都では1卓あたりの利用人数に制限あり)されたことを受けて、ランチ、ディナー共に過半数の店で客数、客単価のいずれも昨年を上回り、既存店売上は前年比で10%以上増加いたしました。

11月1日からは、秋の施策が本格スタート。各店で「くまもとあか牛」を使った特別メニューを提供いたしました。高単価のコースの注文が増えて客単価の上昇に繋がったことに加えて、アサヒビール株式会社様の新商品「Beery」とのコラボレーション企画は大きな話題をよび、合計33社のメディア掲載を実現しました。

また、自粛していた当社主催のイベントについても、感染拡大防止対策「ひらまつスタンダード」を徹底しながら、各地で秋の味覚を取り入れた「収穫祭」ガラディナーを積極的に開催しました。パーティーについては市場の回復が遅れておりますが、少人数やグループでの問い合わせや受注が増加しつつあり、営業強化を図ってまいります。





ブライダル事業

例年繁忙期となる11月は、今期はコロナの影響を大きく受けましたが、直近での小規模開催のパーティーや家族婚への誘致が成功し、今期最多の実施件数となりました。売上においても、コロナ前と比較して招待客数が減少傾向であるものの、商品知識の強化やヒアリング・提案力の改善活動による営業力の強化により組単価を一定水準に維持することができ、今期最高売上の達成となりました。

また、新規獲得営業においては、全国のブライダル市場が一昨年比平均78%に対し、当社は一昨年比85%まで回復いたしました。今春から着手したデジタル広告の効果が出始め、閲覧者数の獲得と媒体活用チームの細かなサポートによる掲載内容のブラッシュアップにより、エリアによってはコロナ前となる一昨年比100%を超える結果となり、成約、見学数・成約数共に今期最多となりました。

ライフ・タイム・バリュー事業に向けた取り組みといたしましては、婚礼成約者に対する専用LINEの登録を促進し、より豊かなひらまつライフを提案する取り組みを実施しております。

ホテル事業

11月の既存店売上は、昨年のGo Toキャンペーンによる特需効果がなくなった影響で前年対比では73%に留まりましたが、新型コロナウイルスの感染状況が改善したことで旅行消費は着実に回復し、一昨年対比では158%と堅調に推移いたしました。賢島は、引き続き好調に推移しており、冬SPAプランや記念日プランは多くのお客様にご支持いただいております。熱海は、新たに開始した来宮神社参拝プランが好評を得ております。仙石原は、2年ぶりにすすき祭りが開催され、紅葉シーズン中、多数のお客様にご利用いただきました。宜野座は、海外旅行代替需要を取り込み、連泊利用のお客様が伸びています。京都は、株主様向けの賢島ホテルとの連泊プランが好評を得ております。

軽井沢御代田は、引き続き高い稼働率を維持しております。焚き火ラウンジがアップグレードされ、キッチンカーでの飲み物や軽食の提供がスタート。朝日放送「旅サラダ」にも取り上げられ、大きな集客効果に繋がりました。引き続き冬の軽井沢御代田での新たな体験価値づくりを図ってまいります。

いよいよ太平洋クラブとの提携がスタートし、当社ホテル宿泊者に向けた優待プレー価格やゴルフクラブ会員に向けた特典など、相互優待を今後積極的に推進してまいります。

注) 1. 各数値につきましては、速報値のため確定値と異なることがあります。

(監査法人の監査は受けておりません)

2. 上記数値は株式会社ひらまつ単体の数値であり、連結数値ではありません。
3. 各月の数値は百万円未満を四捨五入しております。
4. 開業より15か月経過した店舗を既存店とします。

※2020年11月に閉店した「ブラスリー ポール・ボキューズ博多」、2020年12月に閉店した「レストランテ オルケストラータ」は2020年12月からレストラン事業の既存店に含んでおりません。

※2021年2月より当社による運営となった「高台寺ひらまつ」、「十牛庵」はレストラン事業の既存店に含まれておりません。

以上